

■地域密着型サービスの整備計画（案）

サービス区分		R5年度末	整 備 計 画			R8年度末
			R6年度	R7年度	R8年度	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	事業所数	1		1		2
小規模多機能型居宅介護	事業所数	3		1		4
看護小規模多機能型居宅介護	事業所数	0				0
認知症対応型共同生活介護	事業所数	11				11
	ユニット数	19				19
地域密着型特定施設入居者生活介護	事業所数	1				1
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	事業所数	2			1	3

整備方針

地域密着型サービスの整備については、第8期介護保険事業計画に基づき進めてきましたが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護のいずれも整備を完了することができませんでした。

第9期介護保険事業計画を策定するにあたって実施した各アンケートの調査結果において、施設等の利用を検討していない割合が7割となっていることや、認知症になった場合でも自宅での生活を希望する人が相当数いることなどが確認できることから在宅生活を支えるサービスの必要性は高いものと言えます。

また、埼玉県調査によりますと、依然介護老人福祉施設入居者生活介護（特別養護老人ホーム）への入所待機者数は一定数いるものの広域型介護老人福祉施設入居者生活介護（特別養護老人ホーム）の募集枠が設けられないことから、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護のニーズは存在するものと推測されます。

いずれも、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることを目指す地域包括ケアシステムには必要な施設であることから、引き続き整備を進める必要があります。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の公募を実施するにあたって、令和3年度に事業者向け説明会を開催しましたが、応募に繋がりませんでした。また、令和4年度には既存事業所を訪問しヒアリングを行い、令和5年度には市民課に設置されているモニターにサービスの説明を掲載するなどの対策を実施しました。第9期介護保険事業計画期間においても、施設整備に向けて、様々な対策を検討し実施することとします。